

<b>3類型</b>	鋳工業品の生産に係る技術	<b>通巻番号</b>	5-19-010
<b>地域資源名</b>	淡路瓦	<b>認定日</b>	平成19年10月12日
<b>地域</b>	兵庫県南あわじ市	<b>所管省庁</b>	経済産業省

## 事業名: 淡路瓦「鬼師」がつくるオリジナルエクステリア製品・インテリア製品の開発販売

会社名: 株式会社タツミ

所在地: 兵庫県南あわじ市津井976

連絡先: TEL: 0799-38-0309

H P: <http://www.tatsumi-oni.co.jp/>

FAX: 0799-38-0025

### 事業概要(新たな活用の視点)

- ・淡路のいぶし瓦は屋根材として約400年の伝統があり、淡路の地場産業であるとともに、日本の瓦三大生産地の中でもいぶし瓦の生産量シェアは47%と全国第1位である。
- ・しかし、最近では、建築様式の変化、高度な屋根葺き技術を要する住宅の減少等により、生産量の低減が進んでいる。今後、瓦作りの技術を活かし、屋根材以外の分野への進出が必要となってきた。
- ・本事業は、「淡路いぶし瓦」の鬼瓦製造技術を活用して、エクステリア製品・インテリア製品を展開しようとするものである。



【エクステリア施工展示】

### 売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

#### ◆競争力

- ・淡路いぶし瓦は色艶に特色があり、銀色に輝く光沢は、日本一と評価が高い。
- ・他の瓦の製造企業と異なり、多数の鬼師(鬼瓦を作る職人)を抱えているため白地作りから焼き上げまで自社一貫生産が可能であり、リードタイムの短縮、高度な技術力により顧客の要望に対応出来る。

#### ◆市場性

- ・本製品の属する造園工事の市場規模は、2002年度の全国造園工事完工高で4,128億円であり、今後の成長も期待出来る。

#### ◆販路

- ・既に当社のエクステリア製品(新和風庭園用瓦材)を使用したモデル庭園を造り、一般公開してPRを進めている。



【小物(壁掛け)、小物(置物)】



【花器(窯変調)】

### 地域資源における関係事業者との連携

- ・今後、受注が当社生産能力を上回る場合には、生産力強化策として地域の同業者への生産委託をする予定としている。